

令和5年度 管理運営評価シート

施設名	先端科学技術支援センター	現指定管理期間	令和5年度～9年度(5年間)
指定管理者	国際ライフパートナー(株)	選定方法	公募

1 指定管理者による自己評価

評価項目	業務目標 (事業計画ベース)	実績・評価	指定 管理者	施設 所管課
維持 管理 業務	清掃	施設の機能及び美観を保つための細やかな清掃作業を実施する	◎	◎
	設備保守管理	法定点検及び定期点検を実施するとともに各設備に日常点検を実施する	◎	◎
	植栽管理	植栽の種類に応じて適切な時期に適切な植栽管理を実施する	○	○
	警備	機械警備を実施し夜間警備の強化を図り、事件事故の未然防止に努め、利用者の安全を守る	◎	◎
	小規模修繕	開設後30年が経過し、修繕を要する箇所が多いことから、優先順位の緩急軽重を判断して、修繕を行う	◎	◎
	法定点検の実施	法定点検及び定期点検を実施するとともに各設備に日常点検を実施する	◎	◎
運営 業務	開館日・開館時間等	開館時間:午前9時～午後10時まで。休館日:12月29日～1月3日まで	◎	◎
	公共性・公平性の確保	公共の施設であることを念頭に、公平かつ妥当な業務を推進する	◎	◎

	各種事業・プログラムの実施状況	自主事業を活発に行い、こころ豊かな兵庫づくりの一翼を担う	写真展(4月・12月×4回・1月) 親子で押し花体験(7月・10月) らんま先生の eco 科学実験ショー(11月) 親子で体験かごづくり(2月)	○	○
	利用者満足度調査結果(アンケート調査)	主にアンケート調査を行い、フィードバックして業務に反映する	アンケート調査結果では、多くの利用者から満足のいく良い評価を頂いた。(宿泊者対象)	○	○
利用状況	利用者数	当センターの存在を広く知らせ、会議室及び宿泊施設の利用者数の増加に努める	宿泊者数: 5,325 人(前年対比 804 人増)、会議室利用者数: 7,774 人(前年対比 715 人減)であった。	○	○
	施設稼働率	セミナー室については、地元住民に当センターの存在を知らしめて利用の促進を図るとともに、ゲストハウスについては、メディアを通じて、より広く集客力を高める	会議室稼働率: 12%とやや増加、宿泊室稼働率: 45%とやや増加した	○	○
収支状況	収支計画と実績	指定管理料: 82,980 千円 利用料金収入予測: 25,500 千円	指定管理料: 82,980 千円 利用料金収入: 21,796 千円	○	○
	経費節減に向けた取組	きめ細かな施設維持管理を行い、経費節減に努める	光熱水費の節減に力を入れた計画的な取組みを実施した。特に照明の LED 化・水漏れ対応等で効果あり。事務消耗品等も節約節減した	○	○
運営体制	苦情要望等の対応体制・内容	利用者の要望を把握するとともに、苦情が発生した場合は、早期に原因を究明し、誠意を持って対応する	公平、適正に業務を推進した結果、重大なトラブル、苦情、要望等は認められなかった。(全職員が共有、ミーティング実施)	◎	◎
	危機管理体制の確保	指揮監督体制を強化し、有事即応体制を確立する	PPP 事業部と有事に対応できるように危機管理体制を強化した。(緊急連絡体制作成・訓練年数回実施)	◎	◎
	県・関係機関との連携	兵庫県立大学と連携を密にするとともに、迅速な県への報告連絡を行う	県への報告、連絡を適時適切に行った。兵庫県立大学との連携を密にして円滑な業務を推進した	◎	◎
	業務の再委託の状況	施設の機能及び美観を保つことに加え、法定点検及び定期点検を実施する	事業計画書に基づき、施設の機能及び美観を保つため再委託常務を行った。	○	○

2 総合的な自己評価・来年度の取組目標・課題等について

令和5年度は管理運営が初年度であり、施設管理を行う上で不明点や未経験の部分が多く理解するのに時間を要した。次年度は利用者視点での運営を心がけ、細やかなニーズの汲み取りおよびその迅速な対応を行う。運営面・維持管理面・自主事業面など、お客様に受け入れられる施設管理が目標と捉えている。

令和5年度 総合評価シート

評価者:産業労働部新産業課

施設名	先端科学技術支援センター	現指定管理期間	令和5年度～9年度(5年間)
指定管理者	国際ライフパートナー(株)	選定方法	公募

1 指定管理者の業務実績に関する評価

- ・新たに指定管理者となったが、他施設での指定管理者としての経験を生かし、適切な管理を行った。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置付けが5類に引き下げられたこともあり、積極的に集客するイベントを実施し、利用者のニーズに沿った自主事業を実施したと認める。
- ・利用者アンケートにおいて高い評価を得ており(「再利用したい」85%、「接客態度良い、大変良い」80%、宿泊者数は前年度を上回る実績であった。

2 業務改善に向けた分析・指導内容

- ・R4 年度と比較すると利用者は増加しており、徐々に新型コロナウイルス感染拡大前の水準に近づいてきている。
- ・今後も県としては引き続き適切な指導、監督に努めるとともに、利用者サービスの向上のため、良好な管理・運営の継続と、積極的な広報、アンケートの実施などの取り組みを求めていきたい。

3 施設所管課による総合評価

1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
B				

総合評価指標(管理運営評価シートの施設所管課による評価結果を基準とする)

S	◎が 80%超である
A	◎が 60%超 80%以下であり、かつ△と×の合計が 20%以下である
B	◎が 60%以下であり、かつ△と×の合計が 20%以下である
C	△と×の合計が 20%超 40%以下である
D	△と×の合計が 40%超である

令和5年度 管理運営評価シート

施設名	兵庫県立但馬ドーム	現指定管理期間	令和5年度～9年度(5年間)
指定管理者	(公財)兵庫県勤労福祉協会・全但バス(株)グループ	選定方法	公募

1 指定管理者による自己評価

評価項目	業務目標 (事業計画ベース)	実績・評価	指定 管理者	施設 所管課	
維持 管理 業務	清掃	・日常清掃及び定期清掃を実施。	◎	◎	
	設備保守管理	<ul style="list-style-type: none"> ・以下のとおり設備の保守管理を実施。 ・自家用電気工作物保安管理(毎月1回) ・消防設備点検(総合点検年1回、機能点検年1回、防火対象物年1回) ・給排水設備(受水槽清掃年1回、水質検査年1回、汚水槽清掃年2回) ・空調点検(ボイラー年1回、空気調和機・全熱交換機・チラーファンコイル年2回) ・エレベータ点検(毎月1回) ・害虫駆除(年2回) 	◎	◎	
	植栽管理	・随時実施。	<ul style="list-style-type: none"> ・職員による除草・剪定等を精力的に行うとともに、委託業者と連携し、状況に応じた除草・剪定を実施するとともに、安全性の確保や景観の美化を図った。 ・専門業者の指導を受け、芝生の維持管理を行い、利用環境の向上を図った。 	○	○
	警備	・夜間機械警備(毎日)を実施	・夜間の防犯・防災体制及び夜間緊急連絡体制を整備している。	◎	◎
	小規模修繕	・異常個所の早期発見・早期対応を図る。	・職員による日々の施設巡回、設備のメンテナンス点検を実施し、事故の未然防止等を図った。	◎	◎
	法定点検の実施	・上記設備保守管理のとおりに。	・上記設備保守管理のとおりに。	◎	◎

運営業務	開館日・開館時間等	<ul style="list-style-type: none"> ・早朝開館、休館日の変更等柔軟に対応する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年度を通じて早朝開館等、利用者のニーズに応じた柔軟な対応を図り、満足度の高いサービスを提供した。 	◎	◎
	公共性・公平性の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・公平な利用機会を提供するため、以下のとおり情報提供を行う。 ・但馬記者クラブ(二八会)での記者発表 ・県民だより、但馬内市町広報誌への掲載 ・但馬内情報誌(T2、FMジャングル等)への掲載 ・ホームページやSNSを活用した情報の早期発信 ・全但バス(株)関連施設での施設のPR、ラッピングバスの運行 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種情報媒体を通じて、リアルタイムでわかりやすい情報発信を行い、施設の特徴をアピールし、幅広い用途に利用されている。 	◎	◎
	各種事業・プログラムの実施状況	<p><利用促進事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドームdeアウトドアアクティビティなど9事業を実施(内容等別紙のとおり)。 <p><自主事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・グラウンド・ゴルフ推進事業(但馬ドーム杯グラウンド・ゴルフ交流大会等)など8事業を実施(内容等別紙のとおり)。 	<p><利用促進事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドーム棟グラウンド、野外グラウンド、またドーム周辺の森林等を使用して9事業を実施。 ・但馬ドーム25周年記念イベントや敷地内森林等を活用した新規事業に着手。 <p><自主事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・グラウンド・ゴルフ推進事業のほか、ニュースポーツの普及など8事業を実施。 ・神鍋の自然や地元食材を活用した新規事業を推進。 	○	○
	利用者満足度調査結果(アンケート調査)	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査(団体利用対象)を実施し、調査結果の分析、検証を行い、施設運営に活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通じ、利用団体を対象にアンケート調査を実施。 アンケート送付 157団体 回答数 114団体 回答率 74.3% ・アンケート結果は職員全員で共有、要望やニーズなどを認識し、きめ細かな満足度の高いサービスに繋げ、リピーターの確保を図った。 	○	○
	利用状況	<p>利用者数</p> <p>目標 240,000人 [前年度:63,096人] ※令和4年度、ドーム棟グラウンドは年間を通じて利用休止(5、6月を除く)</p>	<p>推計入園者数 160,780人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍以前に比べ、利用団体数、人数等が全般的に減少傾向となった。 	○	○

	施設稼働率	<p>目標(多目的グラウンド) 86% [前年度:63.9%] ※5・6月実績</p>	<p>多目的グラウンド利用率 78.3% ・利用件数・利用率は回復傾向にあるが、コロナ禍以前の水準には達していない。</p>	○	○
収支状況	収支計画と実績	<p>・収入(税込み) 利用料金収入 15,508千円 利用促進事業収入 3,965千円 自主事業収入 3,654千円 ・支出(税込み) 人件費 70,498千円 運営費 54,204千円</p>	<p>・収入(税込み) 利用料金収入 14,405千円 利用促進事業収入 1,826千円 自主事業収入 2,707千円 ・支出(税込み) 人件費 49,625千円 運営費 53,691千円</p>	○	○
	経費節減に向けた取組	<p>・見積合わせ等コスト意識の徹底を図る。 ・冷暖房、調光など日々の電気量の節減を図る。 ・水道メータを日々計測し漏水防止による節水を図る。</p>	<p>・工事、物品調達等においては、数者見積合わせを実施し、常に安価で安心な発注先を選定。 ・日々の巡回・点検により、修繕箇所の早期発見、修繕費の節約に努めた。 ・こまめな冷暖房調整、調光調整等コスト意識の徹底を図った。</p>	○	○
運営体制	苦情要望等の対応体制・内容	<p>・職員間の緊密な報告・連絡及び必要に応じた幹部会、全体会を開催。 ・要望、苦情への迅速な対応及び要件に応じた協会事務局、県労政福祉課との協議による適切な対応を図る。</p>	<p>・全職員が適切な対応ができるよう情報の共有を図った。 ・安全、安心を第一に考え、利用者の立場に立った満足度の高いサービスを提供するなどホスピタリティの向上を図った。</p>	◎	◎
	危機管理体制の確保	<p>・危機管理マニュアルに基づき以下のとおり実施。 ・イベント等の事故に備えた職員対象のAED救急講習会の開催 ・イベント等への看護師の常駐や地域の医療施設との連携 ・共同事業体による強固なバックアップ体制に基づく危機管理 ・消防訓練の実施(10月:総合訓練、3月:避難通報訓練)</p>	<p>・年度当初に、危機管理マニュアル等研修を実施。 ・イベント時には、怪我、事故等に備えて常駐看護師を配置。 ・年2回の消防訓練を通じて危機管理体制の徹底を図り、利用者が安全かつ快適に利用できるよう管理運営を行った。 ・共同事業体である全但バス、神姫バス、日本管財等と連携し、イベント時の緊急対応体制を確立。</p>	◎	◎

県・関係機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・兵庫県、豊岡市、観光協会、商工会議所、商工会、各種競技団体、但馬ドーム応援隊ファンクラブ等との緊密な連携を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営協議会を2回、運営協力者会議を1回開催し、関係団体・者からの提言など意見交換を実施。 ・但馬小学生駅伝大会、県高校総体ソフトボール競技開会式、各種ソフトボール、サッカー一等大会、全日本身体障害者野球大会など集客イベントを開催。 ・但馬ドーム25周年記念ファスタでは、県民局及び商工会議所・商工会等の協力を得て、盛大に実施。 ・応援隊ファンクラブについては、イベントのボランティアとして参加・協力を要請。 ・関係機関との円滑な協力体制のもと、継続事業の実施及び新たな事業の誘致等計画策定を図った。 	◎	◎
業務の再委託の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・以下のとおり委託。 ・三菱重工機械システム(株)(可動設備) 5,280千円 ・神姫バス(株)(清掃・設備保守) 7,627千円 ・日本管財(株)(輸送設備保守、機械警備) 2,033千円 ・全但バス(株)(利用促進) 2,000千円 " (ラッピングバス) 1,000千円 ・シルバー人材センター(植栽管理) 1,028千円 	<ul style="list-style-type: none"> ・施工業者や共同事業体の構成団体に委託し、不具合の迅速な対応を図るとともに、安定した施設全体の維持管理等を行った。 	◎	◎

2 総合的な自己評価・来年度の取組目標・課題等について

・令和5年度は、2～4年度の大規模計画修繕工事が終了し、また新型コロナウイルス感染症も5類へ移行したことから、通常の運営となり利用件数・利用率などは回復傾向とはなったが、利用団体数やその人数等が全般的に減少傾向にあり、コロナ禍以前の水準には達しなかった。

・グラウンド・ゴルフ等の中高齢者団体の利用が多く、生涯スポーツの実践・普及を一つの柱として推進するとともに、ニュースポーツの普及をはじめとした幅広い利用者ニーズに対応するべく、新たな事業・イベントを企画するなど新たな可能性を模索し、一定の実績を上げることができた。

・ソフトボールやサッカーをはじめとした大会や合宿、学校行事等利用拡大を図る中で、地域の宿泊施設・観光協会・行政等との連携を強化するなど、地域間交流の促進に貢献した。

・計画修繕工事は終了したが、開館以来25年が経過し全般的に設備の老朽化が進んでおり、不具合や修繕・更新工事など今後も修繕費が増加することが懸念され、兵庫県、豊岡市と協議・連携し、施設環境の維持・更新を図っていく。

・令和6年度は、第5期指定管理の2年目として、さらなる地域との連携強化や地域間交流を促進、森林やジオパークを活用したアクティビティやツーリズム等新たな魅力を創出するとともに、スポーツ・レクリエーションの裾野拡大、SNS等を活用した効果的な情報提供、広報・PR活動の強化を図り、安全・安心で快適な施設環境を提供しつつ、SDGsへの貢献を図っていく。

令和5年度 総合評価シート

評価者:産業労働部労政福祉課

施設名	兵庫県立但馬ドーム	現指定管理期間	令和5年～令和9年(5年間)
指定管理者	(公財)兵庫県勤労福祉協会・全但バス(株)グループ	選定方法	公募

1 指定管理者の業務実績に関する評価

- 施設設備の維持について、職員による点検、メンテナンスによる異常の早期発見と対応など、適切な管理を行うことにより、利用者の安全確保を図っている。
- 令和5年度は、2～4年度の大規模計画修繕工事が終了し、またコロナウイルス感染症も5類へ移行したことから、通常の運営となり利用件数・利用率などは回復傾向とはなったが、利用団体数やその人数等が一般的に減少傾向にあり、コロナ禍以前の水準には達しなかった。
- グラウンドゴルフ大会の開催、広報誌、AM ラジオ、県内広域でのチラシ配布による宣伝活動等、利用者の取り組みに向けた施策を順次行っており、利用者数の増加に向け取り組んでいる。また、休館日開館の実施等、利用者のニーズに合わせた施策を実施し、利用者満足度の向上に向けた取り組みなども行っている。

2 業務改善に向けた分析・指導内容

令和5年度よりドーム棟を使用することが可能であり、コロナの直接的な影響もなくなってくるため利用者数の増加が見込まれ、今後も県として引き続き必要に応じて適正な指導を行うとともに、引き続き利用者サービスの向上のため、良好な管理・運営の継続を求めている。

3 施設所管課による総合評価

1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
B	B	B		

総合評価指標(管理運営評価シートの施設所管課による評価結果を基準とする)

S	◎が 80%超である
A	◎が 60%超 80%以下であり、かつ△と×の合計が 20%以下である
B	◎が 60%以下であり、かつ△と×の合計が 20%以下である
C	△と×の合計が 20%超 40%以下である
D	△と×の合計が 40%超である

令和5年度 管理運営評価シート

施設名	兵庫県中央労働センター	現指定管理期間	令和3年度～5年度(3年間)
指定管理者	公益財団法人兵庫県勤労福祉協会	選定方法	非公募

1 指定管理者による自己評価

評価項目		業務目標 (事業計画ベース)	実績・評価	指定 管理者	施設 所管課
維持管理業務	清掃	建物清掃・冷暖房設備運転管理・塵芥処理・環境衛生管理「空気環境測定・水質検査・害虫駆除・貯水清掃・排水設備清掃」	令和3年4月～令和6年3月の業務委託契約(3年契約3年目)建物清掃・冷暖房設備運転管理・塵芥処理・環境衛生管理「空気環境測定・水質検査・害虫駆除・貯水清掃・排水設備清掃」10,835,000円(税込み)	○	○
	設備保守管理	自家用電気工作物保安管理 エレベーター保守点検 冷暖房機保守点検 消防設備点検 駐車場自動精算機保守点検 PCネットワークシステム保守等	業務委託契約により実施 ・自家用電気工作物保安管理(3年契約3年目) 389,400円(税込み)(令和3年4月1日～令和6年3月31日) ・エレベーター保守点検(3年契約3年目) 1,610,400円(税込み)(令和3年4月1日～令和6年3月31日) ・冷房機保守点検(3年契約3年目) 682,000円(税込み)(令和3年4月1日～令和6年3月31日) ・消防設備点検(3年契約3年目) 290,278円(税込み)(令和3年4月1日～令和6年3月31日) ・自動ドア、駐車場精算機保守点検(3年契約3年目) 416,900円(税込み)(令和3年4月1日～令和6年3月31日) ・予約管理システム保守等22,000円(税込み)(県予約システムに移行する為5/31契約終了)	○	○

	植栽管理	(館外)毛虫除去・植栽の手入れ、屋上の枯葉処理 (館内)共用部の緑化の取り組み	・美観を損なわない程度の定期的な植栽、樹木への散水 ・屋上の排水溝に溜まる枯葉の定期除去 ・中庭の高木等管理、近隣建物敷地内への侵入確認、および伐採 ・ピエ等、共用部分の観葉植物等を管理し、美観及び憩いのスペース整備に努めた。	○	○
	警備	機械警備(夜間) 遠隔監視(毎日)	業務委託契約により実施 建物警備781,440(税込み) (3年契約3年目) (令和3年4月1日～令和6年3月31日)	○	○
	小規模修繕	日常点検において、必要に応じて実施する	貸出備品等簡易な修繕については、経費節減の為、自前で修理を実施した。	○	○
	法定点検の実施	年2回実施	年2回実施	○	○
運営業務	開館日・開館時間等		第二日曜日及び12月29日～1月3日以外の9:00～21:00	○	○
	公共性・公平性の確保		ホームページで、最新情報の積極的な発信に努めた。 月初の受付開始日に抽選制度を今年度も実施し、利用者の負担軽減と公平性の確保に努めた。	○	○
	各種事業・プログラムの実施状況	パンフレットの配布及びチラシ等による広報	・パンフレットを館内各所に設置 ・ファミリーパックガイドブックに広告を掲載	○	○
	利用者満足度調査結果(アンケート調査)	1月でアンケート実施	不満との回答はありませんでした。 労働図書館の認知度が低い	○	○
利用状況	利用者数	370,000人 [前年度:370,000人]	346,280人 [前年度:325,760人]	△	△
	施設稼働率	52.0% [前年度:52%]	51.1% [前年度:46.9%]	△	△

収支状況	収支計画と実績	(収入) 利用料金収入 43,437 千円 県指定管理収入 21,414 千円 共益費収入 14,330 千円 目的内収入 68 千円 企画事業収入 109 千円	(収入) 利用料金収入 43,597 千円 県指定管理料収入 26,517 千円 県補助金収入 1,011 千円 整備工事費収入 1,869 千円 共益費収入 14,358 千円 目的内収入 69 千円 企画事業収入 81 千円 (支出) 人件費 39,714 千円 運営費 30,308 千円	○	○
	経費節減に向けた取組	節電に努め経費の削減に務めた	節電効果により、デマンドを抑えることができた。	○	○
運営体制	苦情要望等の対応体制・内容	利用者の苦情、クレーム対応について迅速且つ丁寧な対応を行う。	問題・課題について毎月全体ミーティングを実施し問題解決、情報共有に取り組んだ。	○	○
	危機管理体制の確保	火災、台風、地震、衛生事故の危機管理マニュアルを更新し、管理体制の確立を図る。	・台風時の対応でマニュアルに基づき行動、対応、報告が実施できた ・実際に避難器具を使い高所からの避難を体験。充実した消防訓練が実施出来た。	○	○
	県・関係機関との連携	県や勤労福祉協会と連携を取る。	・随時、県や勤労福祉協会事務局と連絡を取り、連携を図った。また、今年度も入居団体も含めた全館での消防訓練を実施し、密接な関係づくりに努めた。	○	○
	業務の再委託の状況	専門的な知識や技能を要する業務については、業務委託により効率的に実施する。	・建物管理業務 ・建物保安警備業務 ・電気保守点検業務 ・昇降機保守業務 ・冷温水機保守点検業務 ・自動ドア保守点検業務 ・消防設備保守点検業務 ・駐車場発券機・精算機・カーゲート保守業務	○	○

2 総合的な自己評価・来年度の取組目標・課題等について

利用者の立場にたった施設運営を行うとともに、改革意識を持って、日常業務に取り組めた。
前年に比べ利用率増。新たな利用者を開拓するなど利用率のアップを目標に職員一丸となって頑張る。

令和5年度 総合評価シート

評価者:産業労働部労政福祉課

施設名	兵庫県中央労働センター	現指定管理期間	令和3年度～5年度(3年間)
指定管理者	公益財団法人兵庫県勤労福祉協会	選定方法	非公募

1 指定管理者の業務実績に関する評価

- ・ 安全面を考慮したスロープの滑り止め施工の実施など利用者の立場にたった柔軟な対応を行っている。
- ・ パンフレットの配布等も工夫して行っており、新規利用者の開拓や、既存利用者の囲い込みに尽力し、利用者確保に努めている。

2 業務改善に向けた分析・指導内容

令和4年度と比較して利用者数は増加しており、徐々に新型コロナウイルス感染拡大前の水準に近づいてきている。今後も県として引き続き必要に応じて適正な指導を行うとともに、利用者サービスの向上のため、良好な管理・運営の継続と、有効な広報、アンケート実施などの取り組みを求めていきたい。

3 施設所管課による総合評価

1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
B	B	B	—	—

総合評価指標(管理運営評価シートの施設所管課による評価結果を基準とする)

S	◎が80%超である
A	◎が60%超80%以下であり、かつ△と×の合計が20%以下である
B	◎が60%以下であり、かつ△と×の合計が20%以下である
C	△と×の合計が20%超40%以下である
D	△と×の合計が40%超である

令和5年度 管理運営評価シート

施設名	兵庫県立姫路労働会館	現指定管理期間	令和3年度～5年度(3年間)
指定管理者	公益財団法人兵庫県勤労福祉協会	選定方法	非公募

1 指定管理者による自己評価

評価項目	業務目標 (事業計画ベース)	実績・評価	指定 管理者	施設 所管課	
維持 管理 業務	清掃	<ul style="list-style-type: none"> ・専門業者に業務委託した。清掃員が常駐(7:30～11:30は2名、11:30～15:30は1名)し、日常清掃を実施した。 ・ビニール床シートのワックス塗布やカーペットの洗浄、ガラスサッシ等の磨き清掃などの定期清掃は利用者の妨げとならないように、休館日に実施した(3か月に1回)。 	○	○	
	設備保守管理	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の管理作業と並行して施設や設備の巡回点検を実施する。 ・早期に異常を発見し、補修修繕費用の軽減及び長寿命化を図る。 	○	○	
	植栽管理	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の快適な利用を確保するため、駐車場等敷地内の植栽の剪定や雑草、落ち葉等の清掃を実施する。 	◎	◎	
	警備	<ul style="list-style-type: none"> ・夜間機械警備(毎日)を実施する。 	○	○	
	小規模修繕	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の管理・点検に基づき、必要に応じて実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・随時実施した。 ・自動ドア制御装置修繕 ・1階相談コーナー床面カーペット貼替工事 	○	○
	法定点検の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・法令に基づき、点検を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・設備保守管理とあわせて専門業者により点検実施 ・貯水槽清掃(年1回)、簡易水道検査(年1回) ・自家用電気工作物年次点検(年1回)、防火対象物点検(年1回)、消防設備点検(年2回)、EV定期検査(年1回) 	◎	◎

運営業務	開館日・開館時間等	利用者のニーズに応じて休館日の変更及び時間外入館への対応等を実施する。	利用者ニーズに応じて休館日を変更しての柔軟な営業を実施(年間3回)。また会場準備のための早朝入館(8時)にも随時対応(年間102日)。	◎	◎
	公共性・公平性の確保	HPによる最新情報の発信及び、空室状況等の情報提供を行う。	HYOGO カンタン予約を導入。随時空室状況や最新情報をHPにて公開した。	◎	◎
	各種事業・プログラムの実施状況	行政機関、経営者団体、労働者団体等の協力を得て「お仕事川柳コンクール」を実施する。	「新型コロナ禍で定着した新しい働き方」にも焦点を当て、関係団体・報道機関の協力を得て第19回川柳コンクールを実施【募集:11月1日～令和6年1月12日応募句数:498句】	◎	◎
	利用者満足度調査結果(アンケート調査)	利用者へのアンケート調査を実施し、管理運営の改善に反映させる。	・アンケート調査期間 令和5年10月2日～11月30日。 ※期間中、全利用団体へアンケート用紙配布	○	○
利用状況	利用者数	目標年間利用者数 289,000人 [前年度:281,266人]	利用人数 269,062人 目標には及ばず前年度を若干下回り、コロナ禍前の水準には及ばなかった。	○	○
	施設稼働率	目標年間利用率 54% [前年度:49.4%]	利用率 48.8% 目標には及ばず前年度を若干下回り、コロナ禍前の水準には及ばなかった。	○	○
収支状況	収支計画と実績	利用料金収入見込み額 19,122千円 県指定管理料収入見込み額 16,245千円 企画事業収入見込み額 77千円 目的内使用料 56千円	・収入 利用料金収入 20,257千円 県指定管理料収入 19,676千円(整備費除く) 企画事業収入 93千円 目的内使用料 56千円 ・支出 人件費 16,872千円 運営費 23,439千円 企画事業支出 93千円 目的内使用支出 56千円	○	○
	経費節減に向けた取組	省エネへの取組(節電・節水等の実施)	事務所内間引き消灯、各階廊下、フロア部分の適宜消灯対応の継続実施	○	○
運営体制	苦情要望等の対応体制・内容	アンケートを実施し意見、要望を聞く。	アンケート調査を実施した。	○	○
	危機管理体制の確保	・危機管理マニュアルの整備 ・消防訓練の定期実施	・危機管理マニュアルの更新 ・年2回消防訓練を実施した。	◎	◎

	県・関係機関との連携	運営委員会を開催し、関係機関の代表者の意見をもとにさらに充実した運営を図る。	運営委員会を開催(令和6年2月)し、様々な意見をいただいた。	◎	◎
	業務の再委託の状況	専門的な知識や技能を要する業務については、業務委託により効率的に実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・建物管理業務 日常清掃及び定期清掃 空調設備維持管理業務 給排水衛生設備点検管理 ・乗用エレベーター保守点検業務 ・機械警備業務 ・自動ドア保守点検業務 ・電気設備点検業務 	○	○

2 総合的な自己評価・来年度の取組目標・課題等について

- ・今年度、県のオンライン予約システムを導入。来館せずに利用許可申請が可能となり、利用者の利便性が向上した。
- また、昨年度実施したインターネット環境整備による「全室 Wi-Fi 利用可能」を周知した結果、ホール、会議室での Wi-Fi 利用が増加し、利用者が快適に利用できる空間を提供することができた。
- ・来年度においては以下の内容を重点業務取組として運営を行う。
 - ① SNS の活用など新たな情報発信による施設認知度の向上
 - ② 労使団体への働きかけ強化、新規利用先の発掘・誘致による利用率向上
 - ③ 施設の特徴を生かした会館主催事業の企画充実による利用の促進
 - ④ ニーズを踏まえた備品整備によるサービスの向上及び多様な利用形態への対応
 - ⑤ 施設設備の日常点検と老朽化への計画的な対応(予防)による安全安心の確保

令和5年度 総合評価シート

評価者:産業労働部労政福祉課

施設名	兵庫県立姫路労働会館	現指定管理期間	令和3年度～5年度(3年間)
指定管理者	公益財団法人兵庫県勤労福祉協会	選定方法	非公募

1 指定管理者の業務実績に関する評価

- ・ 利用者満足度調査結果を基に、Wi-Fi等付属設備の充実を図るとともに、利用者ニーズに応じ休館日も営業を実施するなど、サービスの向上が認められる。
- ・ 「お仕事川柳」の実施など、県民の文化的活動の促進につながる事業を継続的に運営している。
- ・ 県のオンライン予約システムを導入し、来館せずに利用許可申請が可能となり、利用者の利便性が向上した。利用者のニーズに沿ったサービスの向上に努めた結果、複数回利用するリピート利用者が全体の84%となっており、適正な施設管理業務が行われていると言える。

2 業務改善に向けた分析・指導内容

令和4年度と比較して利用者数は若干減少しているが、リピート利用者も多く、施設利用者の満足度が高いと言える。今後も県として引き続き必要に応じて適正な指導を行うとともに、利用者サービスの向上のため、良好な管理・運営の継続と、有効な広報、アンケート実施などの取り組みを求めていきたい。

3 施設所管課による総合評価

1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
B	B	B	—	—

総合評価指標(管理運営評価シートの施設所管課による評価結果を基準とする)

S	◎が80%超である
A	◎が60%超80%以下であり、かつ△と×の合計が20%以下である
B	◎が60%以下であり、かつ△と×の合計が20%以下である
C	△と×の合計が20%超40%以下である
D	△と×の合計が40%超である

令和5年度 管理運営評価シート

施設名	丹波年輪の里	現指定管理期間	令和3年度～5年度(3年間)
指定管理者	(公財)兵庫丹波の森協会	選定方法	非公募

1 指定管理者による自己評価

評価項目		業務目標 (事業計画ベース)	実績・評価	指定 管理 者	施設 所管 課
	清掃	清掃管理業務をシルバー人材センターに派遣委託(一部直営方式)した。木の館・クラフト館内の清掃、屋外トイレ等の清掃、苑内の清掃、草刈り	業務の効率的な運用を行うため、日々行う清掃の細かな業務マニュアルを定め、来苑者が快適に利用できる環境を整えることができた。 ・派遣実績額 4名 3,598,500円	◎	◎
維持 管理 業務	設備保守管理	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコンシステム保守管理委託業務(経理システム及び事務所内ネットワーク、サーバトラブル等対応) 随時 ・電気設備保守管理委託業務(電気設備保守月例点検) ・消防設備保守管理(消防設備保守点検) 年2回 ・空調機保守業務(空調機点検季節変換時) 年2回 ・夜間管理業務 年 308回 	<p>パソコンシステム保守管理委託業務 年額 290,400円(税込み)</p> <p>パソコンシステム保守管理委託業務:不正アクセス防止はじめを円滑なシステム運用に努めている。</p> <p>・電気設備保守管理委託業務 年額 237,600円(税込み)</p> <p>電気設備保守管理委託業務:故障等の対応、電気に関する相談など良好である。</p> <p>・消防設備保守点検(年2回) 年額 106,700円(税込み)</p> <p>不良箇所を修繕済</p> <p>・空調機保守業務(年2回) 年額 145,200円(税込み)</p> <p>年 2 回夏季と冬季にはいる前に点検している。懸案であった老朽化によるアトリエ棟とレストランの空調を更新した。また木の館の空調の設置により、快適な空調管理が可能となった。</p> <p>・夜間管理(年 309日) 年額 1,214,259円(税込み)</p> <p>夜間管理業務:夜間の貸館業務に対応するため、午後5時15分～9時15分の時間帯に夜間管理を委託。利用者のサービス向上に寄与している。</p>	◎	◎

植栽管理	公園管理委託業務(①苑内の樹木の剪定2回、②樹木防虫剤散布2回、④除草剤散布2回等)	<p>・公園管理委託業務 年額 1,265 千円(税込)</p> <p>植栽管理では、景観の保全是もちろんのこと安全安心を旨として、防犯にも資するよう死角にならないような剪定も実施し、適切な管理に努めている。</p> <p>また、職員自らが剪定等管理を行い、来苑者が気持ちよく利用いただくために、環境美化に努めている。</p> <p>課題としては、植栽から 36 年が経過し、樹木の老木化、立ち枯れも散見され、倒木や枝折れによる利用者への落下、根張りが進み苑路舗装の隆起による散策者転倒が懸念されることから、日々の点検等更なる適切な管理をおこなっている。特に昨今全国で倒木による死亡事が発生していることに鑑み、緊急の状況調査を行い問題のある樹木の発見に努めた。239,800 円</p>	◎	◎
警備	機械警備委託(夜間及び休館中の無人警備) 防犯カメラの設置	<p>・機械警備委託(R3 年度より 3 年契約) 年額 323,400 円(税込み)</p> <p>異常発報にも迅速・的確に対応し、安全管理の維持に努めている。</p> <p>また、防犯上の抑止効果や事件発生時の記録を取るため防犯カメラを設置し利用者の安全確保に努めている。</p>	◎	◎
小規模修繕	・必要に応じ修繕を行う(施設設備木部等腐朽箇所、老朽箇所修繕、機械機器定期点検等)。	<p>開園から 36 年が経過しており、表面上顕在化していない木の内部劣化が懸念される。</p> <p>屋外トイレ修繕工事(1 箇所) 2,233,000 円</p> <p>屋外トイレ修繕(ドア取付等工事 3 箇所) 1,340,020 円</p> <p>木材置場土間コンクリート工事 1,821,380 円</p> <p>クラフト館工作室改修工事 1,210,000 円</p> <p>アトリエ棟エアコン更新工事 671,000 円</p>	◎	◎

	法定点検の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・自家用電気工作物保安点検 ・消防用設備等法定点検 	<ul style="list-style-type: none"> ・自家用電気工作物保安点検 月次点検毎月1回、年次点検1回 異常なし ・消防用設備等法定点検 年2回 消火器の耐用年限到来 16本、屋内消火栓ホース 耐圧試験 ※業務委託により実施(設備保守管理欄に記載のとおり) 	◎	◎
運営業務	開館日・開館時間等	<ul style="list-style-type: none"> ・開館9時から21時(夜間=クラブ館・木の館予約状況に対応)・毎週月曜日休館、年末年始(12/29~1/3)休館 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設管理規則に沿った運営に努めた。 ・今後も施設管理規則に沿った運営に努める。 夜間の利用のため、シルバー人材センターに委託し、利用者のサービス向上に努めている。 	◎	◎
	公共性・公平性の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・安全安心を念頭においた施設運営 ・全世代に対応した情報発信 ホームページのお知らせ欄掲載の情報発信の充実 ・SNSの活用 ・スローガン「安全安心」「心地良さ」「創造をはぐくむ工作指導」接客の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯、事故の未然防止を念頭においた環境整備 ・各種イベント等の実施に向けては、インスタグラムの活用(全職員にSNS講習の実施) ・新聞等紙面を活用した情報発信、毎月行事広告(神戸新聞丹波版、丹波新聞掲載)ほかホームページでのわかりやすい内容の掲載 ・道の駅、県、市の公共施設等にパンフレット設置 ・丁寧な接客、木工の裾野を広げる施設の設置目的を念頭に置いた指導 	◎	◎

	<p>各種事業・プログラムの実施状況</p>	<p>・指定事業、企画事業、補助事業、林産指導事業の計画実施</p>	<p>・指定事業 第7回たんば絵てがみコンクール、ゴールデンウィークフェスタ、平日グラウンドゴルフ、年輪友の会、丹波年輪の里グラウンドゴルフ大会、ギャラリーアトリエ、第35回丹波の森ウッドクラフト展、座っ展、緑の中のコンサート、ティラノサウルスレース丹波竜の里等計画どおり実施した。</p> <p>・企画事業 クラフト商品材料販売事業、木のなんでも市、自動販売機設置事業、レストラン運営委託事業、施設利便提供事業を計画どおり実施した。</p> <p>・補助事業 林産指導業務、運営委員会、クラフト教室、木材研修会、アートクラフトフェスティバ、情報収集広報事業を計画どおり実施した。</p> <p>・林産指導事業 木育活動(ひょうご森づくりサポートセンター事業)を中心として、木製玩具の貸出しと木の話(丹波市、丹波篠山市、猪名川町、芦屋市、神戸市、尼崎市、伊丹市の認定こども園、小学校等8箇所)で実施し、「木育」の普及促進に努めることができた。</p>	◎	◎
--	------------------------	------------------------------------	---	---	---

	<p>利用者満足度調査結果 (アンケート調査)</p>	<p>・利用者満足度調査の実施(随時)</p>	<p>アンケートにできる限り協力をお願いしている。年間を通して 25 件と少ないが、良い評価を得ている。また、口頭でも同様の評価を聞いている。 今後は、イベント毎にできるだけ多くの利用者の意見を把握していく。 ・利用者から直接のご意見等をいただき、改善すべきところは、今後も改善に努めていく。 アンケートには反映されていないが、施設の老朽化に対する意見を耳にすることが多いと感じる。 幼児から高齢者まで幅広い年齢層が楽しめる公園であることから、更なる魅力アップのため、利用者のニーズの把握に努める。 ・令和4年度から運営協議会の委員に利用者代表として2名(工作室利用者、アトリエ棟利用者)を委嘱し、利用者目線の率直なご意見をいただいた。 ・木育活動のアンケートでも好評価の意見が多く、次年度の改善に参考としている。 また、木の館に設置しているビー玉を使ったおもちゃの利用者に対してもアンケートを実施し、利用者の地域や年代、情報源等を聴取し、広報活動の参考とした。</p>	○	○
--	---------------------------------	-------------------------	--	---	---

利用状況	利用者数	<p>利用件数目標 3,500 件 [前年度:3,500 人]</p> <p>利用人数目標 80,000 人 [前年度:70,000 人]</p>	<p>利用件数</p> <p>R1 3,412 件 R2 2,606 件 R3 3,098 件 R4 3,426 件 R5 3,500 件 ※対前比 102.2%</p> <p>利用人数</p> <p>H30 97,078 人 R1 74,029 人 R2 22,826 人 R3 58,917 人 R4 77,612 人 R5 94,221 人 ※対前比 121.4%</p> <p>利用件数、利用人数とも目標を達成しており、コロナ禍の回復基調から増加基調に推移した。 ・管内の公的施設等にチラシやパンフレットを配置やホームページ、インスタグラム等のSNSでの発信に努めた。</p>	◎	◎
	施設稼働率	<p>会議室等 8室 22%[前年度:22%] イベント広場 20%[前年度:18%] (データ:利用状況報告3号) [前年度:〇〇%]</p>	<p>H30 会議研修施設 22.9% イベント広場 20.4%</p> <p>R1 会議研修施設 21.3% イベント広場 18.1%</p> <p>R2 会議研修施設 21.4% イベント広場 12.3%</p> <p>R3 会議研修施設 20.9% イベント広場 14.3%</p> <p>R4 会議研修施設 22.4% イベント広場 20.2%</p> <p>R5 会議研修施設 20.7% イベント広場 24.5%</p> <p>過去5年間の平均値を目標として設定したが、施設利用件数等と同様に回復基調を受け、イベント広場の目標は達成できたが、会議室等については若干下回った。管内に市や地域の集会施設などもあるが、更に手軽に利用できる施設としてPRに努める。</p>	○	○

	<p>県・関係機関との連携</p>	<p>丹波県民局、丹波市、(公財)兵庫丹波の森協会(丹波の森公苑、ささやまの森公園、丹波並木道中央公園)、木材製材業関係者等と連携、近隣の道の駅丹波おばあちゃんの里との連携</p>	<p>・近隣の県立施設との事業連携を強化するため、定期的な会議を開いている。 ・検討を重ねそれぞれ持っている特徴を活かした事業を展開「丹波ベンチプロジェクト」計画推進中 ・おばあちゃんの里とは、年輪をイメージしたバームクーヘンのラスク付きコラボジェラートを販売し(販売実績約700個)観光地の回遊による誘客増加の試みを行った。</p>	<p>◎</p>	<p>◎</p>
	<p>業務の再委託の状況</p>	<p>設備保守管理において、ノウハウを持った業者等に再委託する。</p>	<p>・パソコンシステム保守管理委託業務 ・電気設備保守管理委託業務 ・消防設備保守管理 ・空調機保守点検業務 ・夜間管理業務 ・公園維持管理委託業務 ・清掃業務労働者派遣 ・樹木状況調査</p>	<p>◎</p>	<p>◎</p>

2 総合的な自己評価・来年度の取組目標・課題等について

- ・ 施設の修繕に当たっては、単なる修繕に留まらず、利用者目線に立ち、利活用の増進を基本として改修方針で取り組んだ。
- ・ 施設開設から 36 年が経過し、経年劣化により老朽化が著しい。そのため維持管理に必要な修繕箇所が多く発生しており、それに伴う費用増加が今後の課題である。
- ・ 来苑者の安全安心な利用、さらには快適な環境づくりを基本として、施設の維持管理に努めてきた。(美化のための植栽の低木化、清潔・快適なトイレ修繕)
- ・ 営利や効率だけを求める指定管理者ではなく、これまでどおり兵庫県と丹波篠山市、丹波市で創り上げた「丹波の森構想」の具現化を推進し、地域の関係団体とともに一体となって取り組むことで、施設運営にも生かしていく。
- ・ 苑内伐木処理について、木質バイオマス発電の活用に戻すことにて、SDGs の取組も進めている。
- ・ 地域の中では、一番よく利用する公園として子どもから高齢者まで全世代に評価していただいていると自負している。(令和2年度丹波市によるアンケート調査による)賑わい、癒し、快適な空間づくりのため、これまで以上に、環境整備を行い、魅力的なプログラムを計画し、更に利用者の満足度を高めていく。
- ・ 利用者のニーズの把握するため、継続して運営協議会に利用者代表に参画いただき、アンケート調査の実施を広げていく。
- ・ 恐竜化石が発見されたまちとして、ティラノサウルスレース in 丹波竜の里を開催した。開催に当たっては、兵庫県、丹波市、丹波市教育委員会、丹波青年会議所、丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム推進協議会、丹波 2050 地域ビジョンたんばユースチーム、スポーツ推進プロジェクトチーム『道』、官民一体となって取組み、オール丹波での連携の重要性を再認識するイベントとなった。今後の施設活用のモデルとなると考えている。

令和5年度 総合評価シート

評価者:産業労働部労政福祉課

施設名	兵庫県立丹波年輪の里	現指定管理期間	令和3年度～5年度(3年間)
指定管理者	公益財団法人兵庫丹波の森協会	選定方法	非公募

1 指定管理者の業務実績に関する評価

- 施設維持管理運営業務においては、委託業務の契約額の見直しなど、適正に遂行されていると言える。また、職員の点検等により、故障箇所を早期発見し、大規模な故障を予防し修繕費を削減することができている。
- 年間を通じて様々なイベント等を開催しており、また木育を推進する施設としての役割を果たすために事業を推進するなど、地域活性化に大きく貢献していると言える。
- 今後も、利用者の多様化に対する柔軟な対応と利用者の求めるサービスの提供を行い、利用者の増加に努めるよう努力していきたい。

2 業務改善に向けた分析・指導内容

令和4年度と比較し、令和5年度は利用者数も増加しており、今後も県として引き続き必要に応じて適正な指導を行うとともに、利用者サービスの向上のため、良好な管理・運営の継続と、有効な広報・アンケートの実施などの取組を促していく。

3 施設所管課による総合評価

1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
B	A	A	—	—

総合評価指標(管理運営評価シートの施設所管課による評価結果を基準とする)

S	◎が80%超である
A	◎が60%超80%以下であり、かつ△と×の合計が20%以下である
B	◎が60%以下であり、かつ△と×の合計が20%以下である
C	△と×の合計が20%超40%以下である
D	△と×の合計が40%超である